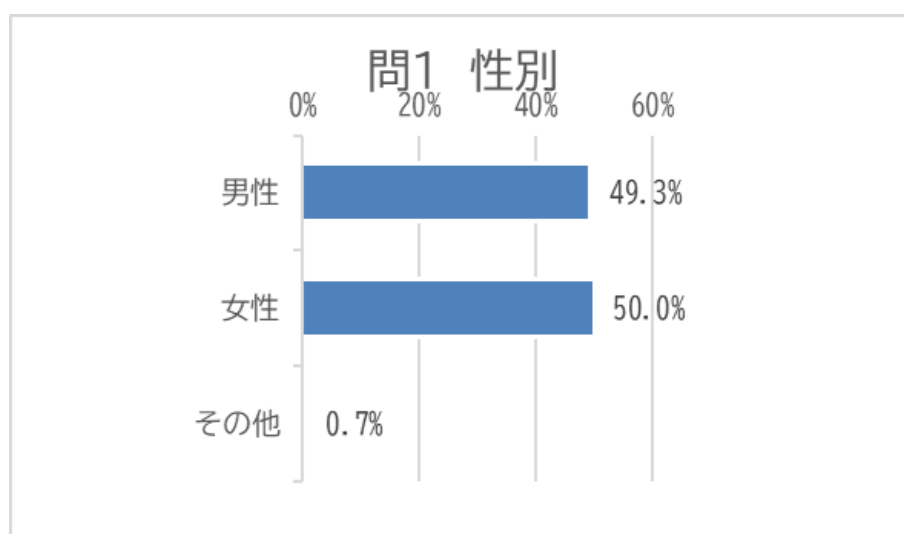


進学・就職等の意向に関する調査

対象者	配布数	有効回収数（回収率）
市内在住の 16～19 歳のうち、1,000 名を 無作為抽出 (平成 17 年 4 月 2 日～平成 21 年 4 月 1 日生まれの方)	1,000	144 (14.4%)

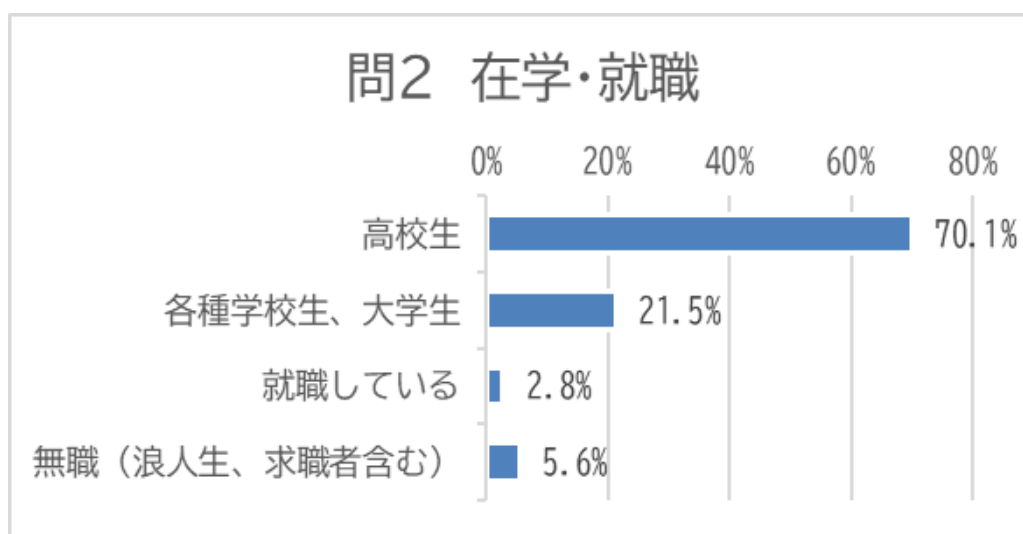
問1 性別

男性、女性ともほぼ同じ割合となっている。



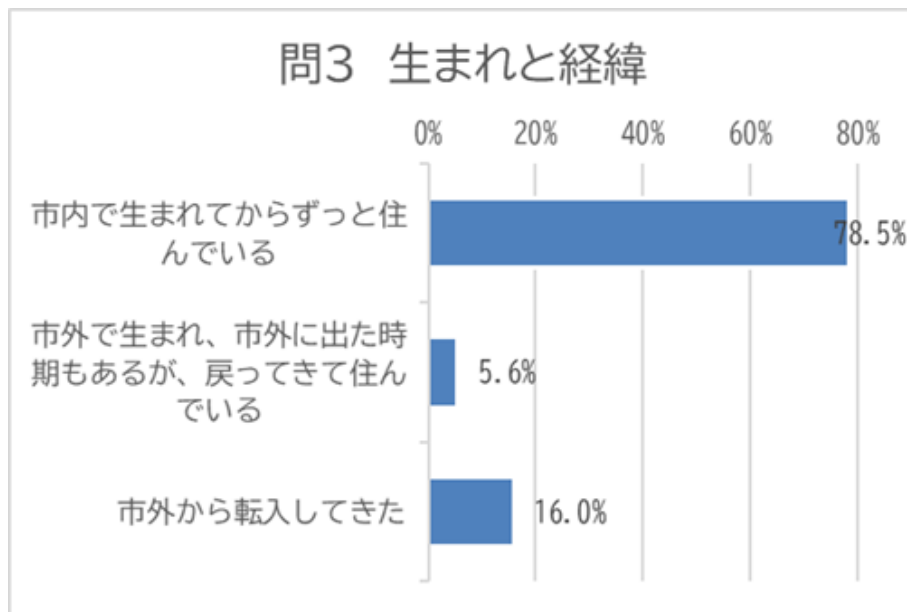
問2 在学・就職

高校生が 7 割、各種学校、大学生が 2 割強、就職しているは 1 割未満であった。



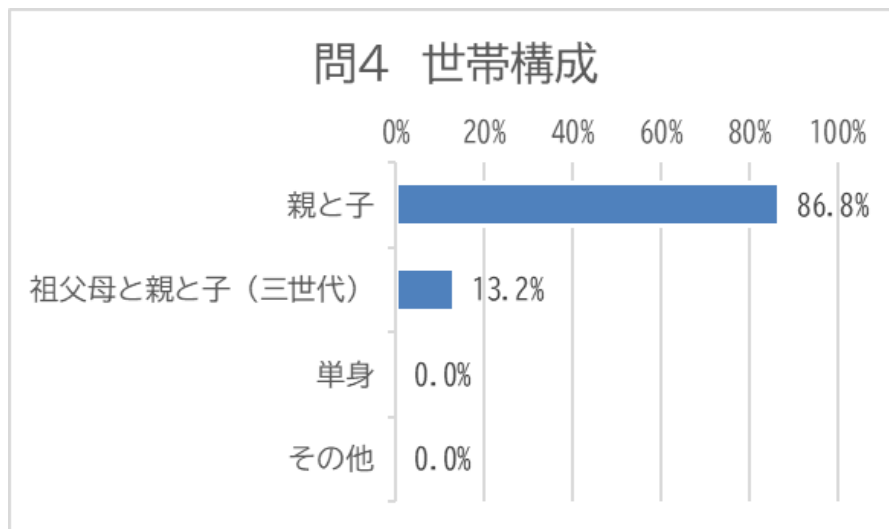
問3 生まれと経緯

市内で生まれてずっと住んでいるが8割弱を占めている。市外からの転入は2割近い。



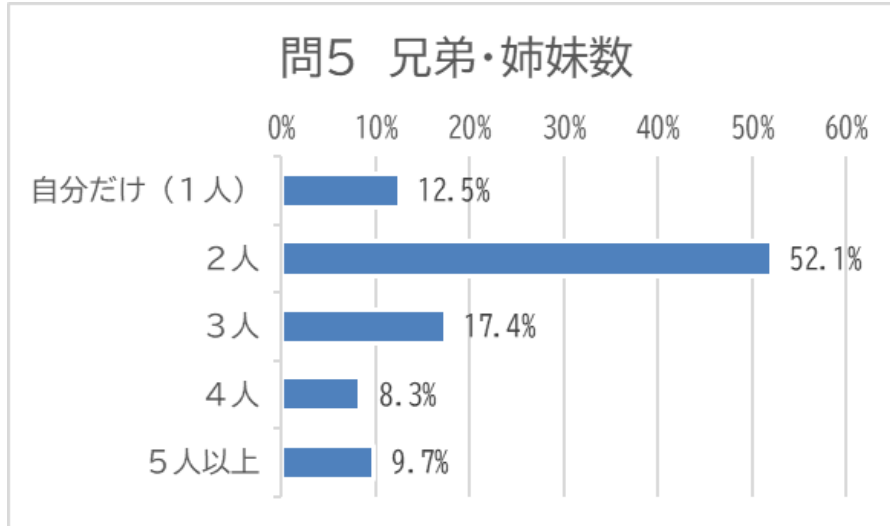
問4 世帯構成

親と子の世帯が主である。



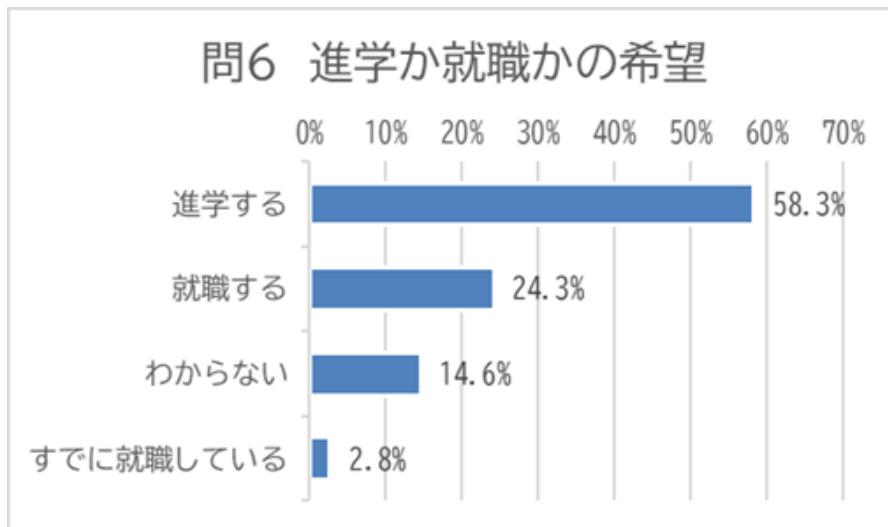
問5 兄弟・姉妹数

2人が52.1%、3人が17.4%で「2人か3人」で7割を占めている。次いで1人12.5%である。



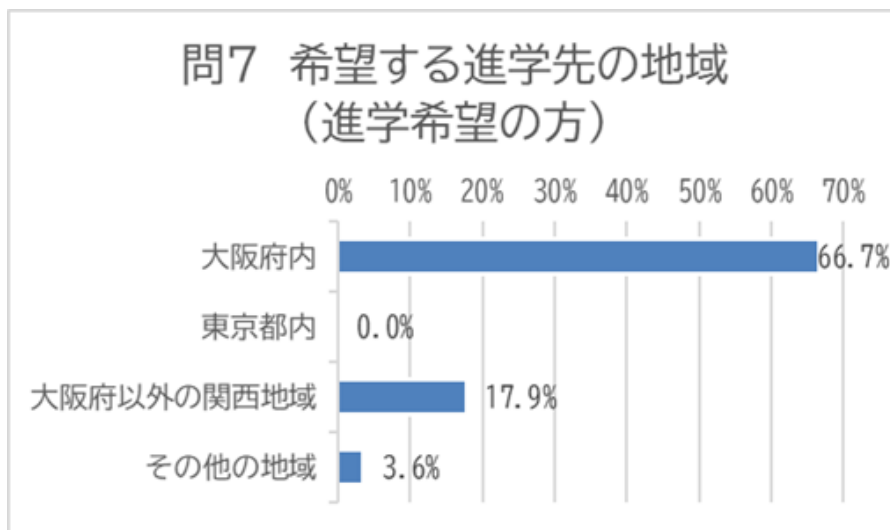
問6 進学か就職かの希望

進学希望が58.3%、就職希望が24.3%である。



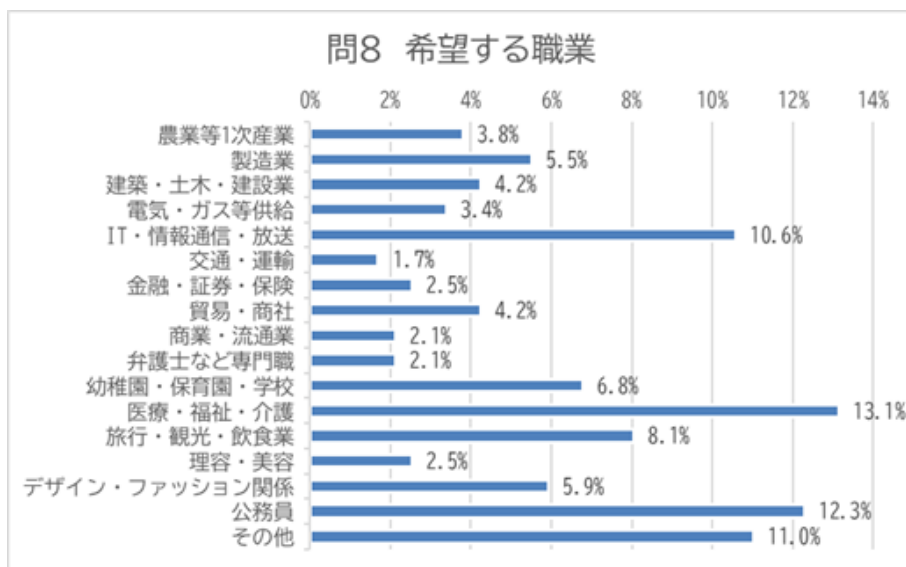
問7 希望する進学先の地域

希望する進学先は、大阪府内が約7割、大阪府以外の関西地域が約2割である。



問8 希望する職業

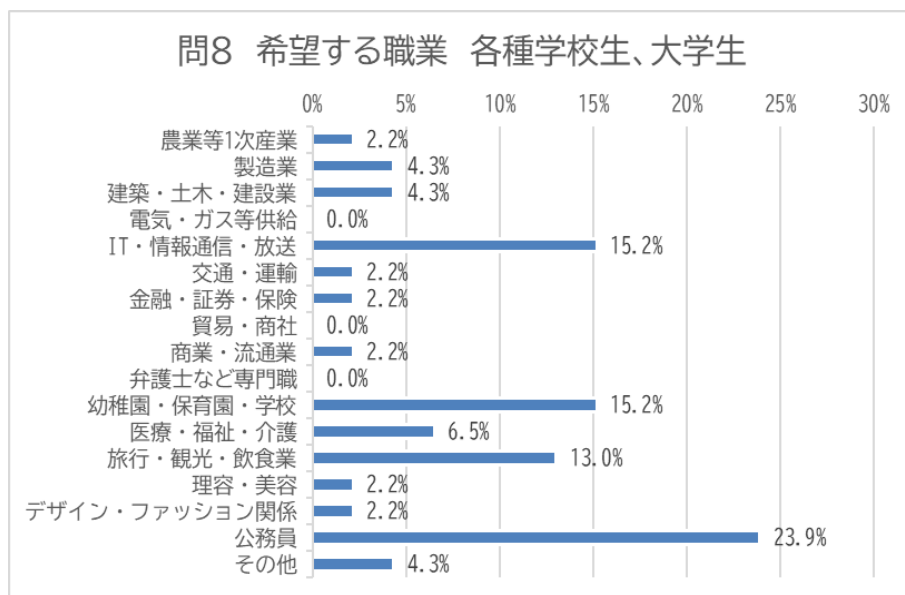
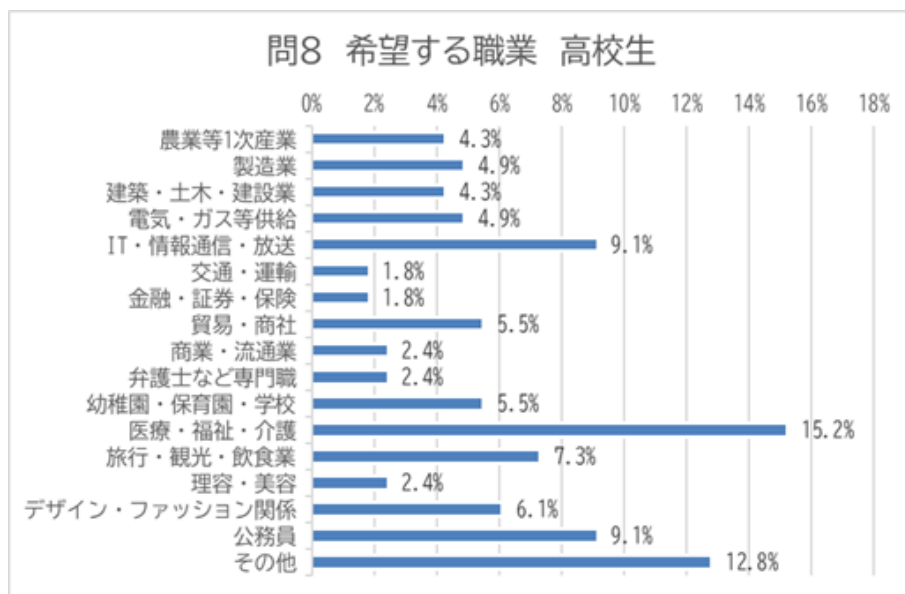
希望する職業では、「医療・福祉・介護」13.1%と「公務員」12.3%が高く、次いで「IT・情報通信・放送」10.6%と「旅行・観光・飲食業」8.1%、「幼稚園・保育園・学校」6.8%と続いている。



（問8 希望する職業） 属性による比較 【高校生・各種学校生、大学生】

高校生と各種学校生、大学生を比較すると、希望する職業については、高校生が「医療・福祉・介護」15.2%と「IT・情報通信・放送」「公務員」9.1%が高く、各種学校生、大学生が「公務員」23.9%と「IT・情報通信・放送」「幼稚園・保育園・学校」15.2%が高くなっている。

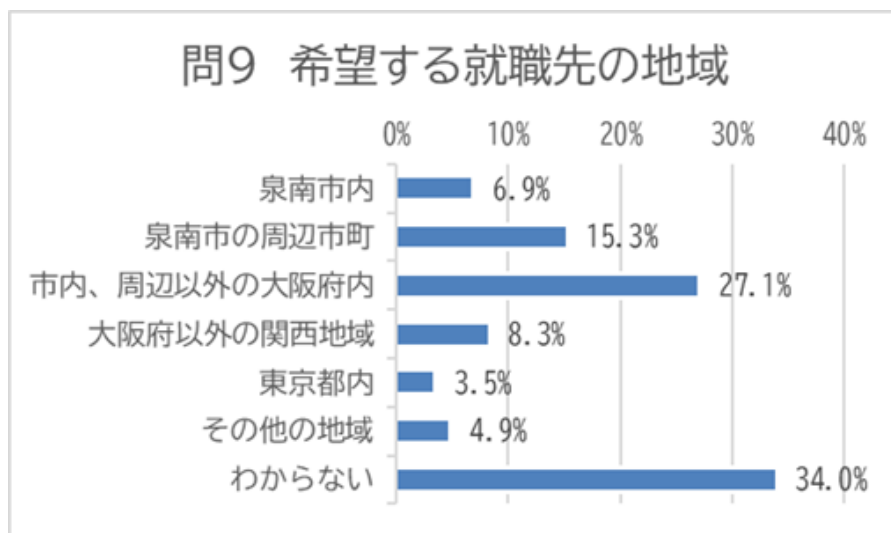
なお、高校生における「その他」12.8%への記載には、ゲームグラフィックデザイナー、コンサルタント、スポーツ関係、画家、研究者、公認心理師、音楽関係、芸能関係、トリマー、プロロードレーサー、考古学者、出版関係などがみられる。



問9 希望する就職先の地域

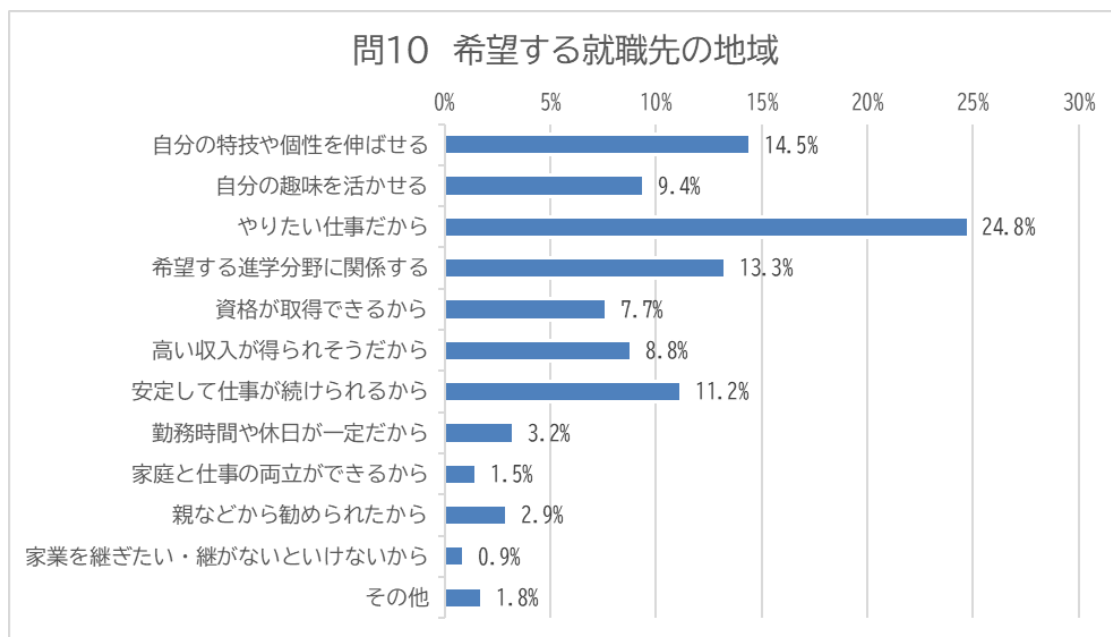
将来的な就職希望地域は、まだ「わからない」34.0%が最も高い。これに「市内、周辺以外の大阪府内」27.1%、「泉南市の周辺市町」15.3%、「大阪府以外の関西地域」8.3%が続いている。

「周辺市町」15.3%と「市内」6.9%を合わせた”地元志向”は約2割となる。



問10 希望する職業を選んだ理由（複数選択可）

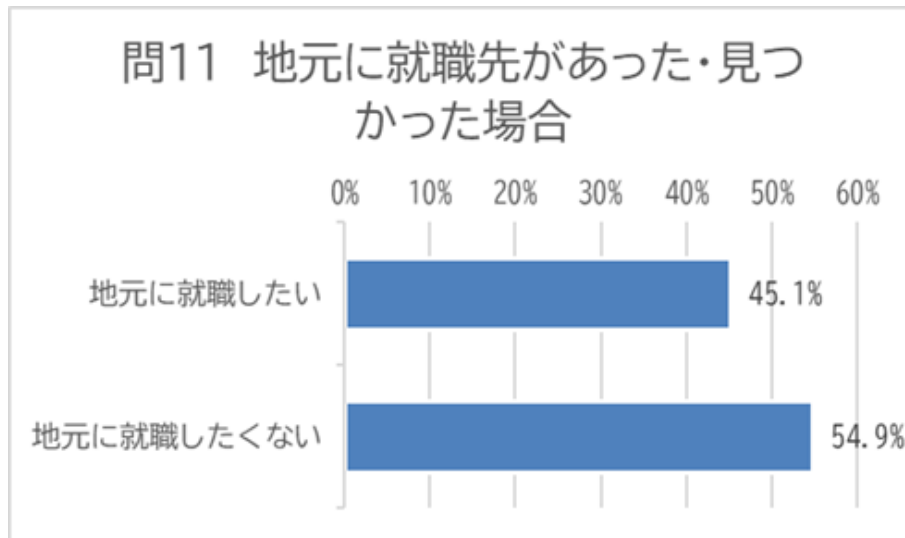
希望する職業を選んだ理由では、「やりたい仕事だから」24.8%が第1にあげられて集中している。次いで、「自分の特技や個性を伸ばせる」14.5%、「希望する進学分野に関係する」13.3%、「安定して仕事が続けられるから」11.2%と続いている。



問 11 地元就職先があった・見つかった場合の意向

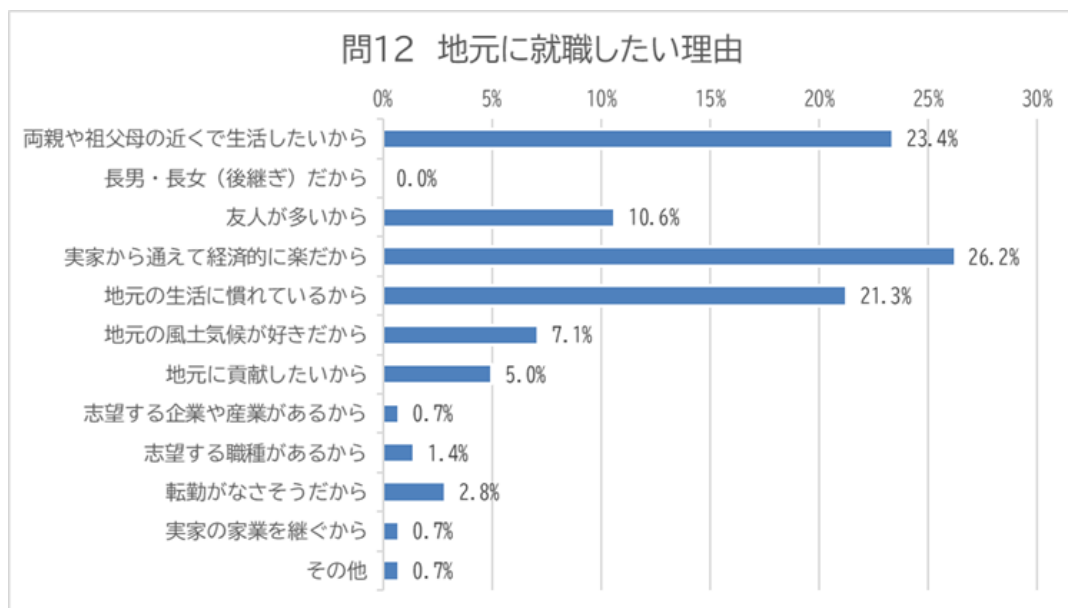
就職先に関連し、” 地元就職先があった・見つかった場合、どうするか” では、「地元就職したい」が4割強となっており、就職先があるならば、「地元就職したい」という地元志向を示している。

一方、地元就職先があっても「地元就職したくない」は5割強を占めている。



問 12 地元就職したい理由（複数選択可）

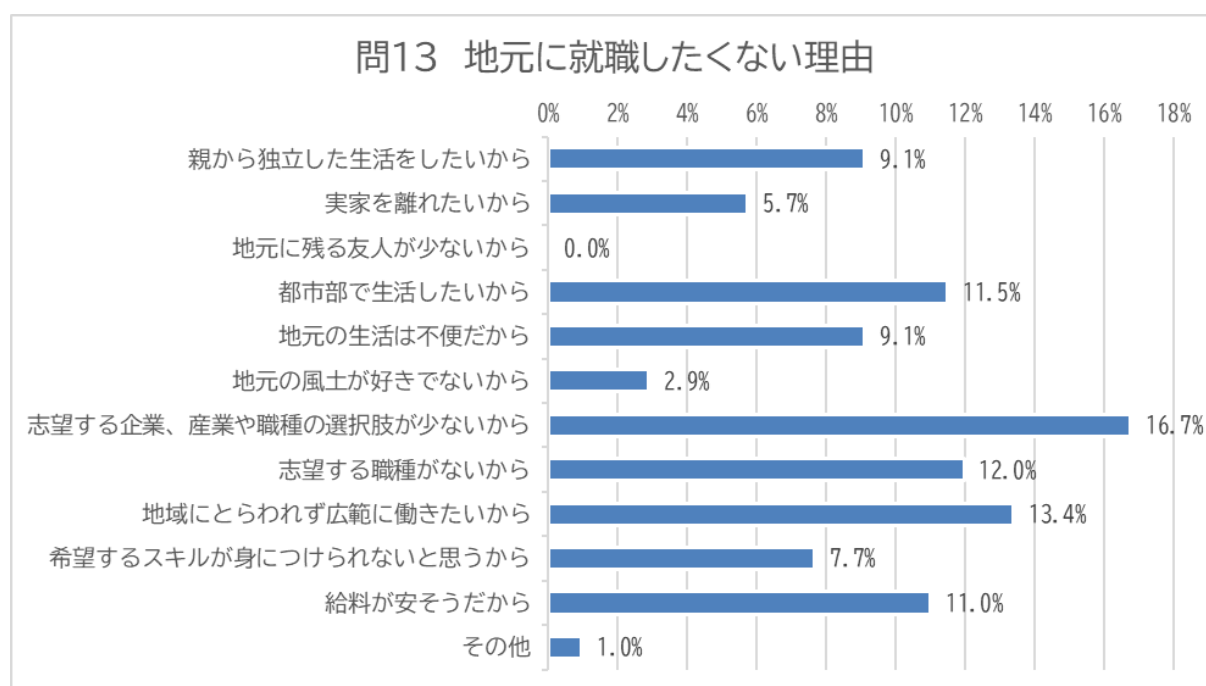
” 地元就職先があった・見つかった場合” は「地元就職したい」と回答した人に対して、その理由をたずねたところ、第1に「実家から通えて経済的に楽だから」が26.2%、第2に「両親や祖父母の近くで生活したいから」23.4%、第3に「地元の生活に慣れているから」21.3%があげられている。



問 13 地元に就職したくない理由（複数選択可）

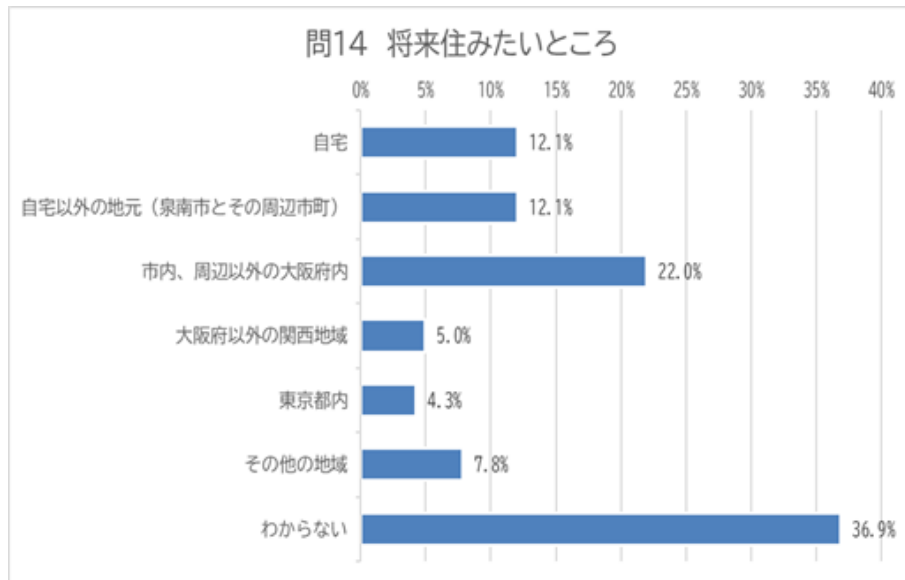
”地元に就職先があった・見つかった場合”でも「地元に就職したくない」と回答した人に対して、その理由をたずねたところ、第1に「志望する企業、産業や職種の選択肢が少ないから」16.7%、第2に「地域にとらわれず広範に働きたいから」13.4%、第3に「志望する職種がないから」12.0%があげられており、これらは地元では自己実現ができないことが理由となっていると思われる。

次いで、「都市部で生活したいから」11.5%、「給料が安そうだから」11.0%、「親から独立した生活をしたいから」9.1%が続いており、これらは、まずは市外へ転出したいという希望を前提にしていると思われる。



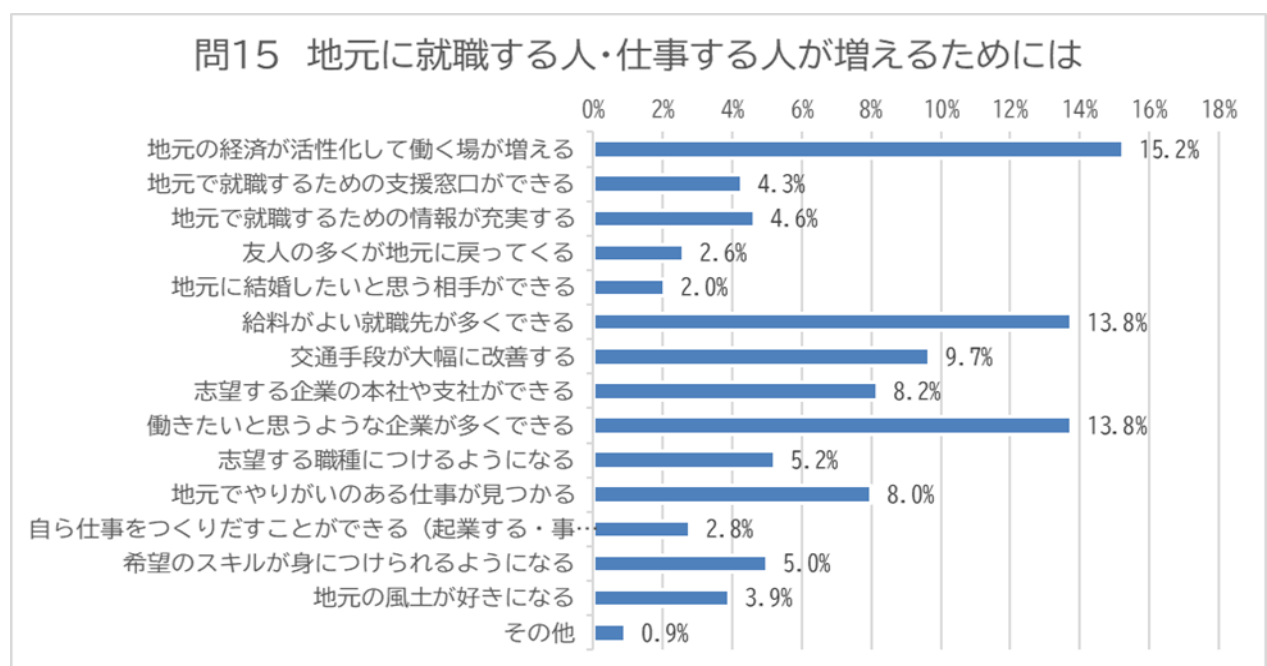
問 14 将来住みたいところ

” 将来的な希望として住みたいところ” では、「わからない」 36.9%が最も高い。次いで、「市内、周辺以外の大阪府内」が 22.0%、「自宅以外の地元」が 12.1%、「自宅」が 12.1%となっている。この自宅と地元を合わせると、約 2 割（24.2%）となり、” 住みたいところ” においては地元志向があまり高いことを示している。



問 15 地元に就職する人・仕事する人が増えるためには（複数選択可）

「地元の状況、若者たちの状況がどのようになれば、地元に就職する人・仕事する人が増えると思うか」については、まず「地元の経済が活性化して働く場が増える」 15.2%を第 1 に、「働きたいと思うような企業が多くできる」 13.8%、「給料がよい就職先が多くできる」 13.8%、「交通手段が大幅に改善する」 9.7%が高い支持を得ている。



問 16 地元以外で就職したとしても、地元で住む人が増えるためには

「地元以外で就職したとしても、地元や若者たちにとっての状況が今後どのようなになれば、地元に住む人が増えると思うか」については、回答が多い項目と事象は次のように整理される。なお、回答が少ない事象は省略している。

項目	件数	主な事象
住まい・生活環境	13	・市全体で街の美観に努める。 ・空き家や雑草が生えた畑など、遊休地を整理し、花を植えたりして綺麗な緑の多い街を作る。 ・駅周辺を綺麗にする。 ・COSTCO など大型商業施設を呼び込む。 ・U ターン制度をつくる。 ・地元の企業への就職促進のため、住居費補助制度をつくる。
雇用	9	・働く場所をつくる。 ・テレワークの推進 ・地域産業と若者の就職マッチング ・給料が上がること。
道路・交通	8	・駅の発展 ・交通の便が良く、勉強や仕事ができる場所を整備する。 ・通学、通勤のための公共交通機関のアクセス改善
子育て支援	7	・子どもの遊び場の充実 ・給食費の無償化 ・働きながら子育てしやすい環境を整備する。
シティプロモーション	7	・泉南に住みたいと思う取組が必要 ・泉南市に来てよかったと思える取組が必要 ・泉南の良いところを伸ばし、活性化してほしい。
観光	6	・人を呼び込むための魅力ある観光地づくり ・自然の多さを活かした観光名所づくり
教育	4	・公立の小中学校の学力向上 ・自習室や学習塾を増やすなど、教育に力を入れる。 ・学校誘致
その他	12	・区単位などでネットモニターによる市民参加の機会創出 ・医療機関の充実 ・30 代の方への移住定住施策